

新型コロナウイルスワクチン接種の高齢者接種がスタートします。

接種券が市町村から送付され、その後仙台市内468カ所の医療機関での個別接種、または集団接種会場での接種を予約。3月31日に、昭和32年4月1日以前にお生まれになつた方、およそ27万人の65歳以上の皆さま宛てに接種券が送付されました。

4月はワクチン量が少ない状況になりますので、高齢者施設での接種を行うこととし、その中でも介護度の高い方が多く入所されている特別養護老人ホームから接種を開始することになります。

コロナで市独自の緊急事態宣言は発令されるなど、危機

声をカタチに！
現場に飛び込む
行動派！
仙台市議会議員

鈴木ひろやす

The News Letter
2021.4.2
vol.72

発行 鈴木ひろやす事務所
Tel&Fax 022-242-0840
URL https://suzuki.sendai-komei.jp
E-mail suzuki-hedol.hi-ho.ne.jp

みなさまからの「声」をお待ちしています。



的な状況でありませんが、不要不急の外出、移動の自粛にも取り組み、正しく恐れるとの判断で、マスク着用、手指消毒、三密回避での対応をよろしく願います。

【議 会 報 告】

新年度からの仙台市事業等多くの議案について、公明党仙台市議団を代表して代表質疑及び予算等審査特別委員会において、総括質疑をいたしました。

【新たな10年のスタートに向けた市長の思い】
代表質疑(抜粋)

◆問◆新仙台市基本計画は、本市が東日本大震災からよみがえり、新たなまちづくりも含めたスタートを切る基盤となる。計画に込められたメッセージを市長に伺います。

■答■計画には、震災の教訓を踏まえた防災環境都市プロジェクトのほか、新型コロナ発生を受け、社会変化に適応しながら本市の強みを磨き上げ、選ばれるまちを目指す視点を追加した。安全安心の基盤を強固にしたがら市民の皆さまと様々な危機を乗り越え、不慮の努力を続け、社会変化に対応しながら、より魅力

あるまちづくりにつながるべく、チャレンジを重ねていきたい。

【震災を風化させない取り組みとパンデミック国際指針の発信】

◆問◆震災10年の節目に、震災を風化させない取り組みをどう考えるのか。また、「仙台防災枠組」が採択された防災環境都市として、新型コロナのパンデミックに関して同様の国際指針を発信してはいかがか。

■答■震災の経験や教訓の世代を超えた継承や国内外への発信の継続に加え、本市の震災体験を踏まえた「災害文化」の醸成に取り組むことで、内外から選ばれ、市民が誇りを持つまちづくりを進める。パンデミック対策の国際指針は意義あるが、本市の感染拡大を抑え社会経済活動を再生させることを最優先とし、国際的な動向を注視したい。

代表質疑に立つ鈴木ひろやす



予算等審査特別委員会質疑(抜粋)
【新庁舎建設に向けた賑わいづくりと市民協働】

◆問◆街の賑わい創出、交流の場創出等、ストリートピアノの設置効果は多用であり、楽都仙台を標榜している仙台は、今後基本設計にはいる新本庁舎の1階に設置場所を考へてはいかがでしょうか。

■答■新本庁舎の低層部は、敷地広場や勾当台公園広場と連続し、街の賑わいを作り出していくことで検討しているところですが。

新年度は、庁舎低層部のあり方について調査検討を行う予定としており、今後、民間事業者や市民の皆様のご意見も伺いながら、市民に開かれた賑わいの創出に資する庁舎を目指してまいります。

設置について質疑に立つ鈴木ひろやす
ストリートピアノ設置について
予算等審査特別委員会
立つ鈴木ひろやす



議会報告2面へ続く

議会報告続き

【今後の防災環境都市・仙台について】

◆問◆3月6日に公明党として福島県郡山市をメイン会場に「東日本大震災10年復興創生大会」を開催しました。この大会で発表された、公明党宮城県本部 東日本大震災から10年の記録誌を市長に贈呈したが、市長に感想と今後の本市防災への取り組みを伺う。

■答■このような記録誌というのは震災を後世に伝えていく、経験と教訓を伝えていくという意味でも、また、災害に強いまちづくりを進めるうえでも大変意義あるものでございます。世界の防災、減災を率先していく立場である被災地の使命と責任に関する記事がございました。被災地東北の中核都市として、仙台防災枠組の採択都市として、震災の記憶、そして経験の継承を図りながら、仙台ならではの「災害文化」の創造と醸成、また、それを確実に世界へ発信していくことに取り組んでまいります。

政務活動 フォトダイジェスト



2月13日に発生した福島県沖での地震被害調査。袋原市営住宅では階段脇のコンクリート製敷材部分が陥没発生。

2月14日



2月13日に発生した福島県沖での地震被害調査。仙台市中央卸売市場資材置き場天井落下状況調査(写真右)、及び太白区内の被害調査(写真左)。

2月15日



大創興復興10年震災復興大会を山元町元坂元地域交流センターで開催。福島市を中継で行いました。

3月6日



山元町震災遺構中浜小学校を視察。震災当時同校校長であった、やまもと語りべの会 井上 剛様から当時の状況を伺いました。

3月6日



公明党宮城県本部 東日本大震災10年誌「～人間の復興、そして未来へ～想いを紡ぐ」を郡仙台市長に贈呈。

3月8日



公明党宮城県本部 東日本大震災10年誌発刊、政策提言についての記者会見に臨みました。

3月9日



東日本大震災10年、仙台市追悼式(宮城野体育館)。感染防止、人数等制限して開催。「人間の復興へ」次の10年への誓いをいただきました。

3月11日



仙台空港に3月12日まで置いてあった七ヶ浜町で被災して甦った、復興ピアノ・名称「ローラ」を視察。天板には当時の傷が残っていました。



柳生・西中田商工振興会設立式で挨拶。この会発足に向けて発起人として働かせていただき、今後顧問として地域振興をけん引していきます。

3月16日

地域サポート活動

市民・町内の皆様からのご要望があり、L字カーブで見通しが悪いとの声を受けて、3月上旬に安全対策のためのカーブミラーが新設されました。(太白区西中田7丁目36付近)



設置前



設置後

住宅開発に伴い交通量が増加したために、初めてこの道路を通行する方も増加。事故が何度か発生している場所の安全対策として、一時停止、及びカーブミラーが新設されました。(太白区中田町二軒橋51付近)



みなさまの声を お聞かせください

